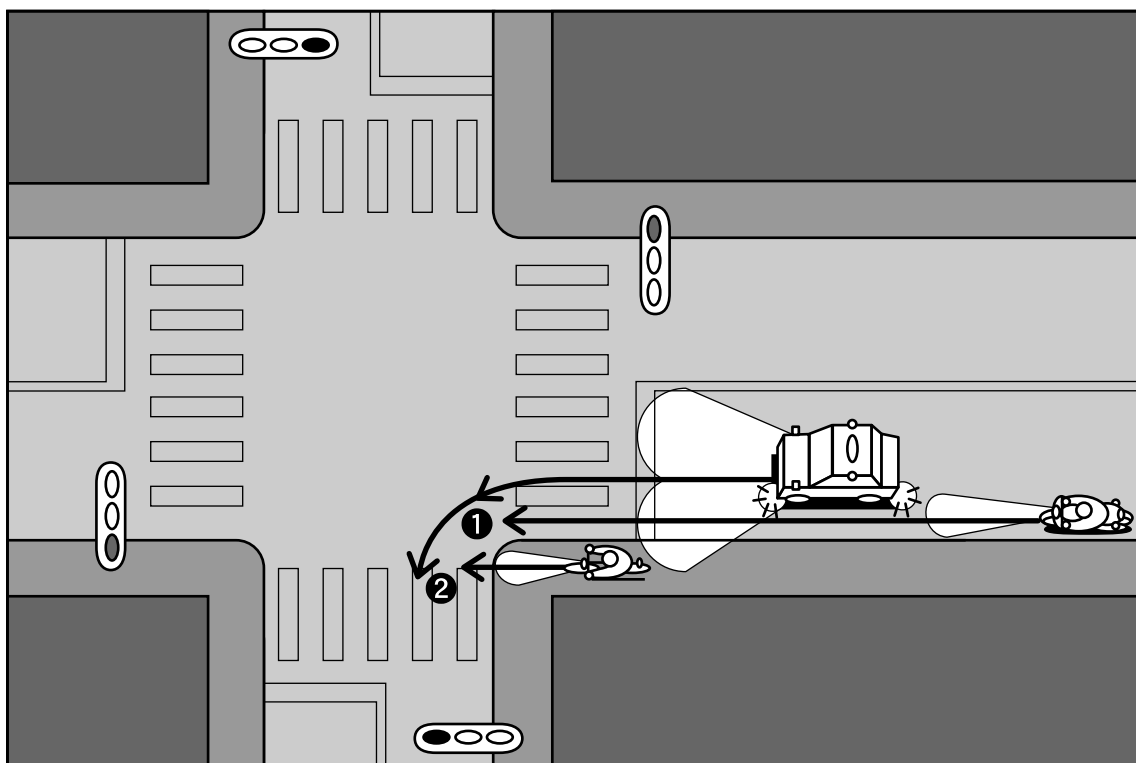


〔タクシー1〕 夜間の交差点を左折



1. 主な危険要因の例

- ① 左のミラーに二輪車が映っており、このまま左折すると二輪車と接触する危険がある。
- ② 前方の自転車が横断歩道を進行すると考えられるので、左折するときに衝突する危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 交差点に接近したときはスピードを落とす。
- ② 左折の合図を早めに出すとともに、左側に寄る前に必ず左後方から二輪車が接近していないかどうかを確認し、二輪車が接近しているときは先に行かせる。
- ③ 横断歩道を進行する自転車や歩行者の有無を確認し、いつでも停止できる速度に減速して進行する。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 交差点左折時の安全走行について、特に次の点を指導する。
 - ・ 交差点に接近したときはスピードを落とす。
 - ・ 早めに左折の合図を出す。
 - ・ 左側方および左後方の状況(二輪車等の有無)を確認する。
 - ・ 前車や横断歩道の歩行者や自転車、対向右折車等の動向に注意する。
- ② 夜間は自転車や歩行者を見落としやすいので、特に慎重に自転車や歩行者の確認を行うとともに、歩行者や自転車が横断しているときは、必ず一時停止して通過を待つ。